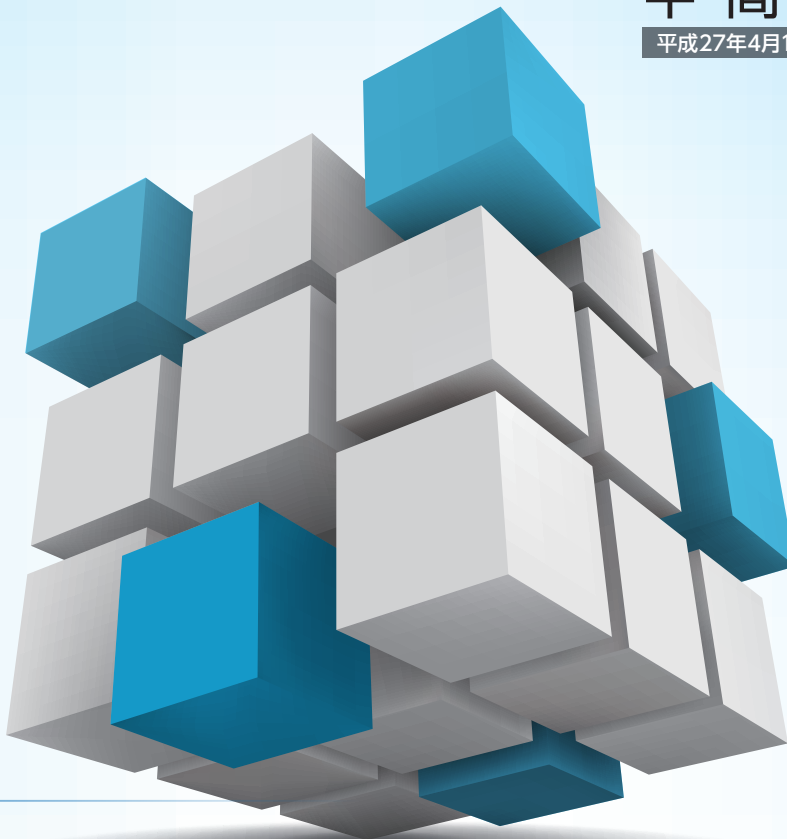


AMANO REPORT

第100期 第2四半期

中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日



Contents

株主の皆様へ	1
トップインタビュー	2
新中期経営計画	3
事業概況	4
連結財務諸表 (要旨)	5
トピックス	7
ネットワーク	9
会社概要	10
株式の状況・株主メモ	

TIME & ECOLOGY
AMANO

証券コード 6436

株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来「人と時間」「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足におき、全ての社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値+将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

平成26年4月よりスタートした新中期経営計画において、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトに掲げ、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組むとともに、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力し、原価低減、販管費抑制にも努めた結果、当中間期の連結業績は、売上高・利益ともに増収増益となりました。

中間配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、株主の皆様のご支援にお応えするため、期初予定通り1株当たり20円とさせていただきます。

下期の経営環境につきましては、わが国経済は、中国など新興国の減速傾向が続く中、輸出が弱含みで推移しており、また企業収益の増勢や雇用・所得環境の改善がみられるものの、設備投資や個人消費の動きは依然として緩慢であり、景気の先行きに不透明感が残るものと考えられます。

このような経営環境の中で、当社およびグループ各社は、新中期経営計画に基づき全社一丸となって業績目標の達成に向けて、経営計画を着実に実行するとともに、更なる経営基盤の強化・拡大を図る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

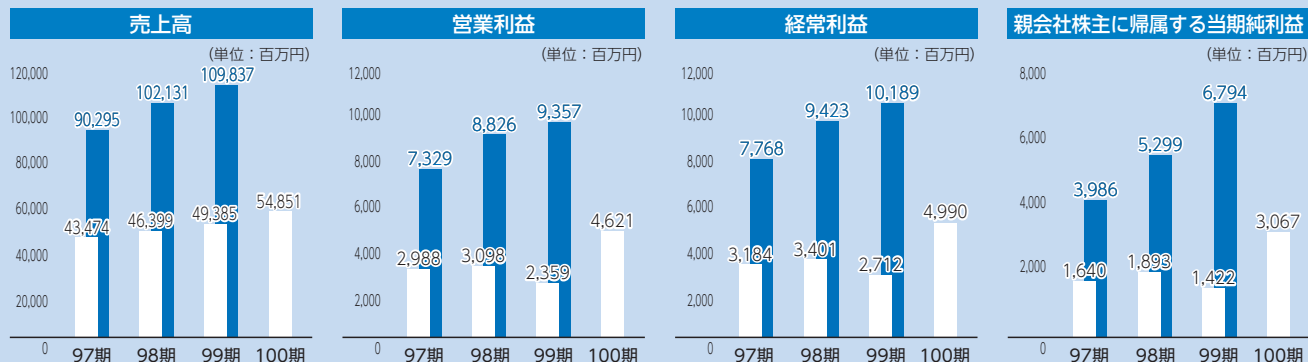


代表取締役社長 中島 泉

平成27年12月

財務ハイライト (連結)

■ 中間期 (第2四半期) ■ 通期



第100期第2四半期中間報告書をお届けするにあたり、代表取締役社長 中島泉へのインタビューを通して当社の現状と今後の取り組みをご説明いたします。

Q1 当中間期の連結業績の概要についてお聞かせください。

A1 当中間期におけるわが国経済は、海外経済が新興国を中心に減速感が強まる中、輸出が伸び悩み、原油安・円安等により企業収益は着実に増加しているものの設備投資の動きは鈍く、また、雇用・所得の改善が続く環境下においても個人消費の回復は緩慢であり、景気は足踏み状態にあるものと考えられます。

このような状況下、2016年3月期第2四半期連結売上高は、548億51百万円（前期比11.1%増）となりました。事業部門別では、情報システムは、国内は企業の業績回復を背景に、ソフトウェアは中堅市場向け就業システムの受注拡大、ハードウェアは情報ターミナルが増加し増収、海外は欧州グループ会社売却の影響はあったものの北米が堅調に推移し増収、全体では前期比9.7%の増収となりました。パーキングシステムは、国内は大型物件および輸出の減少があったものの、駐車場運営受託事業が順調に拡大し増収、海外は北米・欧州・アジアともに増収、全体では前期比8.2%の増収となりました。環境システムは、国内は汎用機・大型システムともに受注が拡大し増収、海外はアジア市場を中心に日系企業の設備投資が堅調に推移し増収、全体では前年同期比12.8%の増収となりました。クリーンシステムは、北米の木材床

研磨機器事業が寄与し増収、全体では前年同期比30.2%の増収となりました。

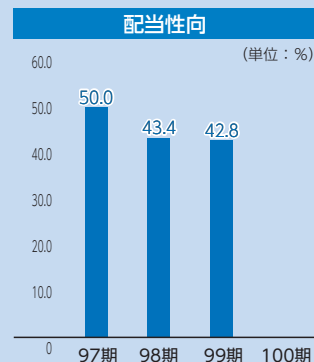
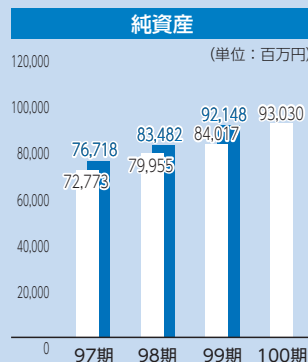
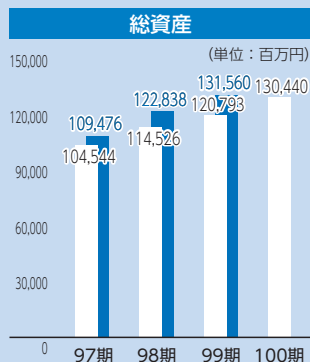
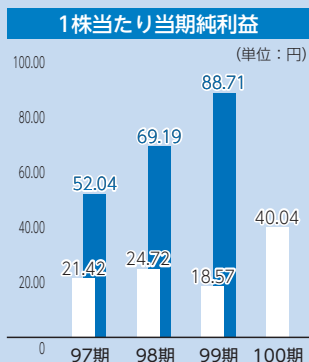
利益につきましては、個別業績が原価低減活動の強化により期初計画を上回ったことに加え、北米及び国内グループ会社の増収増益により、営業利益は46億21百万円（前期比95.9%増）、経常利益は49億90百万円（前期比84.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億67百万円（前期比115.6%増）と増益となりました。

Q2 2016年3月期の通期業績予想についてお聞かせください。

A2 当中間期の業績および足元の事業環境を踏まえた2016年3月期の通期業績予想は、本年4月24日に公表した期初計画を据え置いております。

国内では、景気の先行きに不透明感が残り、パーキングシステムの大型物件や輸出の減少の影響が残るものの、情報システム、環境システムは業績が堅調に推移することが見込まれます。

海外では、北米・アジアは着実に業績を伸ばし、欧州はグループ会社売却の影響は残るものの、全体では増収増益が見込まれます。以上のことを踏まえ、連結売上高1,200億円、営業利益113億円の達成に邁進してまいります。



Q3 新中期経営計画の進捗状況について お聞かせください。

A3 新中期経営計画は、「新たなステージへの挑戦－規模の拡大と成長ドライブの構築－」を経営コンセプトとして掲げてスタートいたしました。

現在、国内外グループ会社との連携により、新市場開拓や新規事業構築に取り組んでおります。新市場開拓については、国内では清掃ロボットの新品の投入により新たな需要の開拓を進めてまいります。北米では木材床研磨機器の事業基盤強化を図っております。欧州ではフランスのホロクオルツ社がアクセスコントロール市場への業容拡大を図っております。また、日系企業の進出が著しいメキシコでは自動車関連企業を中心に汎用機の拡販を実現するべく、拠点開設の準備を進めております。

新規事業構築については、財務会計市場参入は、昨年4月に専門部隊を設け、株式会社クレオとの連携に取り組んでおります。今後も中堅・大規模企業向け市場での就業・人事・給与・会計のコンサルティング営業の推進強化により、情報システムの売上拡大を目指してまいります。また、一昨年より開始しておりますネットビジネスの更なる取り組みも強化してまいります。今後も新規事業の立ち上げ、新市場開拓やアライアンス戦略を通じて、一層の事業領域拡大を図ってまいります。

基本方針

平成26年4月よりスタートした新中期経営計画は、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトとして掲げ、次の4つの重要課題に取り組んでまいります。

- (1) 企業規模の拡大
- (2) 経営効率の向上
- (3) 連結経営の強化
- (4) コーポレートガバナンスの進化



数値計画

本計画の最終年度である平成29年3月期に売上高1,300億円以上、営業利益130億円以上の業績達成を目指してまいります。

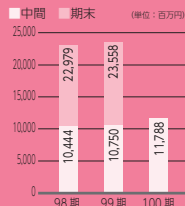
(単位：百万円)

	平成27年3月期 (実績)		平成28年3月期 (修正後)		平成29年3月期	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	109,837	7.5%	120,000	9.3%	130,000	8.3%
営業利益	9,357	6.0%	11,300	20.8%	13,000	15.0%
営業利益率	8.5%	—	9.4%	—	10.0%	—
経常利益	10,189	8.1%	11,700	14.8%	13,600	16.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,794	28.2%	7,300	7.4%	8,300	13.7%

情報システム

売上高

11,788 百万円
(前期比9.7% ↑)

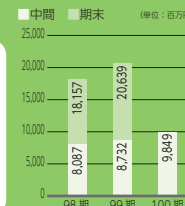


国内の実績は、前年同様に比べ、ハードウェアは4.1%増収、ソフトウェアは11.5%増収、メンテ・サプライは18.1%増収となりました。ハードウェアの増収は、大型物件及び情報ターミナルの増加、ソフトウェアは中堅市場向け就業システムの受注拡大、メンテ・サプライは保守サービス増加によるものです。海外の実績は、北米のアキュタイムシステムズ社は増収、欧州のホロススマート社はグループ会社売却の影響により減収となり、海外全体では8.2%増収となりました。

環境システム

売上高

9,849 百万円
(前期比12.8% ↑)

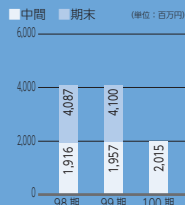


国内の実績は、前年同様に比べ、汎用機は22.6%増収、大型システムは12.2%増収、メンテ・サプライは6.3%増収となりました。海外の実績は、アジア市場を中心に日系企業の設備投資が堅調に推移し増収、海外全体では3.6%増収となりました。

時間管理機器

売上高

2,015 百万円
(前期比3.0% ↑)

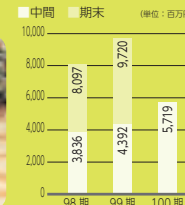


国内の実績は、前年同様に比べ、タイムカード等のサプライ品の売上が増加し、全体では1.5%増収となりました。海外の実績は、北米が為替の影響もあり増収となり、海外全体では0.4%増収となりました。

クリーンシステム

売上高

5,719 百万円
(前期比30.2% ↑)

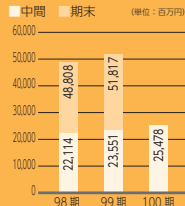


国内の実績は、前年同様に比べ、清掃機器は11.0%増収となりました。海外の実績は、北米は木材床研磨機器事業が寄与し増収、海外全体では70.1%増収となりました。

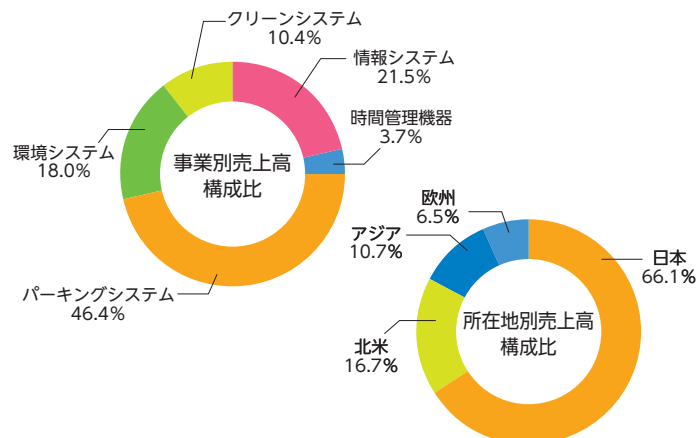
パーキングシステム

売上高

25,478 百万円
(前期比8.2% ↑)



国内の実績は、前年同様に比べ、駐車場機器は9.1%減収、メンテ・サプライは6.1%増収となりました。なお、グループ会社アmanoマネジメントサービス株式会社による運営受託事業は順調に拡大しており、受託車数は前期末比5.7%増加いたしました。海外の実績は、北米のアmanoマクガン社は新システムの受注拡大により増収、アジアは韓国・香港の運営受託事業が順調に拡大し増収となり、海外全体では28.7%増収となりました。



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	第99期 (H27.3.31)	第100期 (H27.9.30)		第99期 (H27.3.31)	第100期 (H27.9.30)	
資産の部			負債の部			
Point ① 流動資産 現金及び預金 24億84百万円増加 その他（仮払消費税等） 9億39百万円増加	① 流動資産	81,633	81,965	③ 流動負債	30,980	30,510
	② 固定資産	49,926	48,475	④ 固定負債	8,431	6,899
	有形固定資産	24,021	23,712	負債合計	39,411	37,409
	無形固定資産	12,279	12,835	純資産の部		
	投資その他の資産	13,625	11,927	株主資本	92,123	93,428
	資産合計	131,560	130,440	その他の包括利益累計額	△350	△767
				非支配株主持分	375	370
Point ② 固定資産 長期預金 15億2百万円減少				⑤ 純資産合計	92,148	93,030
				負債純資産合計	131,560	130,440

Point ⑥ 売上高

時間情報システム事業及び環境関連システム事業ともに伸長し、売上高は前年同期比11.1%の増収となりました

Point ⑦ 営業利益

増収効果が大きく、販売費及び一般管理費も若干の増加にとどまり、営業利益は前年同期比95.9%の増益となりました。

Point ⑧ 経常利益

営業増益の影響により、経常利益は前年同期比84.0%の増益となりました。

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	第99期 (H26.4.1~ H26.9.30)	第100期 (H27.4.1~ H27.9.30)		第99期 (H26.4.1~ H26.9.30)	第100期 (H27.4.1~ H27.9.30)
⑥ 売上高	49,385	54,851	特別利益	2	0
売上原価	27,892	30,776	特別損失	40	88
売上総利益	21,492	24,075	税金等調整前 四半期純利益	2,674	4,902
販売費及び 一般管理費	19,132	19,454	法人税等	1,189	1,799
⑦ 営業利益	2,359	4,621	四半期純利益	1,484	3,102
営業外収益	408	427	非支配株主に帰属 する四半期純利益	62	35
営業外費用	54	58			
⑧ 経常利益	2,712	4,990	⑨ 親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,422	3,067

第2四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

Point ③ 流動負債

支払手形及び買掛金
11億95百万円減少

Point ④ 固定負債

長期借入金
12億46百万円減少

Point ⑤ 純資産

株主資本
13億4百万円増加
為替換算調整勘定
2億74百万円減少

Point ⑨ 親会社株主に 帰属する四半期純利益

経常増益の影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比115.6%の増益となりました。

Point ⑩ 営業CF

税金等調整前四半期純利益
49億2百万円
売上債権の減少額
38億88百万円

Point ⑪ 投資CF

無形固定資産の取得による支出
17億61百万円
有形固定資産の取得による支出
10億79百万円

Point ⑫ 財務CF

配当金の支払額
17億61百万円

	第99期 (H26.4.1~ H26.9.30)	第100期 (H27.4.1~ H27.9.30)
四半期純利益	1,484	3,102
その他の包括利益合計	△625	△418
その他有価証券評価差額金	137	△196
為替換算調整勘定	△805	△285
退職給付に係る調整額	50	56
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	7
四半期包括利益	859	2,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	814	2,649
非支配株主に係る四半期包括利益	44	34

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第99期 (H26.4.1~ H26.9.30)	第100期 (H27.4.1~ H27.9.30)
⑩ 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,636	6,280
⑪ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,866	△2,033
⑫ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,685	△2,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	△142	△70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,058	1,993
現金及び現金同等物の期首残高	31,674	30,526
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	102	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,718	32,520

1. 情報システム

中堅市場向けシステム 販売好調！ トータルソリューション提案強化

中堅市場向け就業システム「TimePro-VG」の販売が順調に拡大しています。「TimePro-VG」は、標準機能が充実しており、画面デザインや操作性、スマートフォン・タブレット対応が好評です。また、当社の就業と株式会社クレオの「ZeeM人事給与」とのトータル提案にも高い評価をいただいております。今後、財務会計も合わせた提案を強化し「ミニERPベンダー」としてのベース構築を進めてまいります。

平成28年から運用が始まるマイナンバー制度への関心の高まりを受け、企業のご担当者様を対象としたセミナーを全国各地で開催し、数多くのお客様にご来場いただきました。制度施行を契機にシステムの新規導入や更新のご要望を数多くいただいております。これからも、お客様のニーズに合わせた各種情報提供を通じて、トータルソリューション提案を強化し、更なる事業拡大を目指してまいります。



7月28日 HRソリューションフェア 東京会場

Information Systems

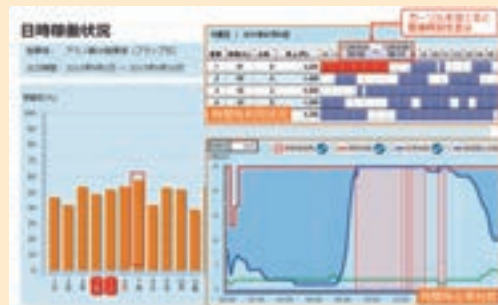
2. パーキングシステム

海外の駐車場運営受託事業拡大！ グローバル展開強化

海外では、韓国と香港で運営受託事業が順調に拡大しています。また、マレーシアをはじめ、他のアジア地域でも同事業の展開を進めてまいります。

国内では、全国の中小駐車場管理会社に当社の駐車場データセンター「Parking Web」を介した、経営分析情報や機器の遠隔操作、料金決済等の各種サービスを提供し、好評を得ています。また、運営受託事業は、グループ会社のアモノマネジメントサービス株式会社との連携により、管理受託を中心に保守・メンテナンスが好調で、駐車場のみならず、近年増加が著しい駐輪場にも拡大しています。

これからも、国内外の地域に応じて、パーキングシステムと運営受託サービスの提供を推進し、グループ一体となった事業拡大に取り組んでまいります。



Parking Web 稼働状況管理画面

Parking Systems

3. 環境システム

販売好調 業績牽引！

汎用機、大型システム共に受注拡大

汎用集塵機、大型システム共に販売好調で全体の業績を牽引しています。汎用機は、平成24年末から順次投入してきた新製品の販売が順調に進んでいます。食品・製薬業界での導入が進むステンレス製集塵機「SPシリーズ」、省エネ・省スペースが好評の汎用集塵機「PiFシリーズ」、工作機械とのセット販売が好調なミストコレクター「EMシリーズ」など、汎用機の売上拡大に貢献しています。大型システムは、中国・東南アジアから、北米・中米へと国内製造業の海外進出が広がるなか、集塵・空気輸送システムの案件が着実に増加しています。

また、海外市場での更なる基盤強化と受注獲得を目指して、日系企業の進出が増加しているフィリピンに今年1月に拠点を開設し、保守・サプライ・エンジニアリング業務を含めた直販体制の構築をスタートしました。さらに、自動車メーカーの進出が進むメキシコでの拠点開設の準備を進めており、来春の業務開始を予定しています。今後も、グローバル市場での需要を確実に受注に結びつけるための商品開発、販売・エンジニアリング体制の強化に取り組んでまいります。



SPシリーズ



PiFシリーズ



EMシリーズ

Environmental Systems

4. クリーンシステム

ロボット掃除機 新発売！

北米市場 木材床研磨機器事業好調

国内では、平成27年9月に清掃ロボットの第2弾として、業務用ロボット掃除機「RcDC」を新発売しました。タブレット端末で運転設定が簡単に行え、オフィスビルや商業施設、工場等、屋内の清掃作業を自動化し、障害物センサーによる安全走行、ゴミの量に応じた吸引力の自動切換等、効率のよい清掃作業を実現しています。

北米では、木材床研磨機器事業の業績が順調に拡大しています。木材床研磨機器は、木材床施工業者への販売や住宅オーナーを対象としたホームセンターでの機器レンタルなど、幅広く利用されています。今後、製品ラインナップの拡充やケミカル商品とのセット販売に取り組み、北米でのクリーンシステムの更なる業容拡大を目指してまいります。



業務用ロボット掃除機 RcDC

Cleaning Systems

Global Network



● TOPICS ● マレーシア 駐車場運営受託事業を展開！ システム機器 アジア未開拓市場攻略

アノマレーシア社では、これまでのパーキングシステム機器販売に加え、運営受託事業を展開、2015年7月からショッピングモール「Citta Mall（駐車台数：1,200台）」でのサービスを開始しました。韓国、香港に続き同事業の更なる業容拡大に取り組んでまいります。また、システム機器は、車番認識や車室管理などの機能を充実し、タイ、ベトナム、インド等の他アジア諸国での市場開拓に努めてまいります。



Citta Mall 駐車場

Domestic Network

支店・営業所

東北・北海道営業本部 札幌／盛岡／秋田／仙台／山形／郡山
 関東営業本部 大宮／宇都宮／高崎／水戸／埼玉
 東京営業本部 東京／品川／新宿／西東京／錦糸町／千葉／柏
 信越営業本部 長野／新潟／長岡／諏訪
 神奈川・静岡営業本部 神奈川／横浜／厚木／藤沢／沼津／静岡／浜松
 中部営業本部 名古屋／豊田／豊橋／四日市／岐阜
 北陸営業本部 金沢／富山
 近畿営業本部 大阪／京都／神戸／東大阪／堺／姫路
 中国・四国営業本部 広島／岡山／松江／山口／高松／松山／高知
 九州営業本部 福岡／北九州／長崎／熊本／鹿児島／沖縄

国内グループ会社

アマノ マネジメントサービス株式会社
 アマノ メンテナンス エンジニアリング株式会社
 アマノ ビジネスソリューションズ株式会社
 株式会社環境衛生研究所
 アマノ 武蔵電機株式会社
 株式会社アマノエージェンシー

生産拠点

相模原事業所
 細江事業所

社名 アマノ株式会社 AMANO Corporation
 本社所在地 〒222-8558
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 TEL 045-401-1441 (代表)
 FAX 045-439-1120
 ホームページ <http://www.amano.co.jp/>
 創業 1931年(昭和6年)11月3日
 設立 1945年(昭和20年)11月22日
 資本金 182億3,958万円(平成27年9月30日現在)
 従業員数 連結4,435名 単独2,063名(平成27年9月30日現在)
 営業品目 企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス

役員

- 情報システム事業
- パーキングシステム事業
- 環境システム事業
- グリーンシステム事業
- アウトソーシング事業
- 時刻配信・認証サービス事業

代表取締役 会長	春田	薫
代表取締役 社長	中島	泉
取締役 兼 常務執行役員	小白	稔
取締役 兼 常務執行役員	上野	弘
取締役 兼 常務執行役員	寺崎	亨
取締役 兼 執行役員	赤笹	功
取締役 兼 執行役員	岸	毅
取締役 (社外取締役)	川島	博
取締役 (社外取締役)	中山	嘉
常勤 監査役	山口	樹
常勤 監査役	佐藤	彦
監査役 (社外監査役)	糸長	志
監査役 (社外監査役)	小堀	秀
常務執行役員	野川	司
常務執行役員	井原	吾
執行役員	米澤	弘
執行役員	新澤	実
執行役員	森保	雄
執行役員	田保	彦
執行役員	近藤	眞
執行役員	中藤	弘
執行役員	黒	淳

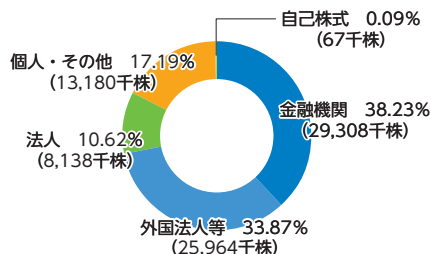
※取締役岸 勲、川島 清嘉の両氏は社外取締役です。

※監査役佐藤 佳志、糸長 文秀の両氏は社外監査役です。

株式情報 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	185,476,000株
発行済株式の総数	76,657,829株
株主数	13,046名

■所有者別株式分布状況



株主メモ Memo

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
期末配当金	毎年3月31日
支払基準日	
中間配当金	毎年9月30日
支払基準日	
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 (0120)232-711(通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.92
Northern Trust Co.(AVFC) Re Silchester International Investors International Value Equity Trust	4,949	6.46
第一生命保険株式会社	4,000	5.22
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99
日本生命保険相互会社	3,743	4.88
Northern Trust Co.(AVFC) Re U.S. Tax Exempted Pension Funds	2,954	3.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,855	3.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,523	3.29
東京海上日動火災保険株式会社	2,448	3.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,100	2.74

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社ホームページでは、会社情報、投資家情報など、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.amano.co.jp/>



アマノ株式会社

本社/〒222-8558
横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL. (045) 401-1441 (代表)
FAX. (045) 439-1120

